

日付	令和5年9月20日
担当所属	山梨県立青洲高等学校
担当者名	教頭 鶴田 博
連絡先	055-272-1161

青洲高等学校 第17回関東ブロック高等学校生徒商業研究発表 大会優秀賞を獲得 全国大会出場を決める

青洲高等学校は関東ブロック大会で山梨県代表として発表し、その結果、総合得点上位3校となり、「優秀賞」を受賞し、全国大会への出場権を獲得した。ひばりが丘高等学校が県代表として過去2度（平成30年度、令和3年度）、全国大会へ出場しているが、青洲高等学校は県勢2校目の出場を果たした。全国大会は11月21日（火）、22日（水）東京都・江戸川区総合文化センター大ホールで開催される。

【関東ブロック大会の概要】

- 日時 2023年9月8日（金）
- 場所 ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県水戸市）
- 大会概要（関東大会）

◆主催 全国商業高等学校長協会関東地区商業関係高等学校長研究協議会
◆出場校 山梨：青洲高 埼玉：皆野高、栃木：鹿沼商工高、群馬：高崎商高
神奈川：平塚農商高 千葉：君津商高、東金商高 茨城：常陸大宮高、鬼怒商高

【研究の概要】

- テーマ 「素人質問で恐縮ですが、その水マジ何なん？」
- 契機

青洲高校には、商業科・工業科・普通科が設置されている。工業科の実習の排水処理を低コストで実施できないか検討したところ、町の伝統産業である和紙作りの工程で利用できることがわかった。そこで、排水状況を調査し、排水を峡南地域の和紙産業に活用し、さらにビジネスとして発展させることはできないかと研究を始めた。

3 研究目標

アップサイクルを活用したビジネスモデルの構築と伝統産業の発展

4 仮説

持続可能な共創型ビジネスモデルの構築により、排水の活用と地域の伝統産業の活性化を実現することができる。

5 成果

- ①排水コストが大幅に削減できた。
- ②和紙製造コストが大幅削減できる見込みとなった。
- ③サウナハットの販売を開始し、ビジネスチャンスが拡大した。

6 仮説の検証

今回のプロジェクトは地元企業との商品開発として「共創型ビジネスモデル」が成立し、大きな成果をあげられることがわかった。併せて仮説の立証をすることができた。

【問い合わせ先】 山梨県立青洲高等学校 教諭 今村 明男 TEL 055-272-1161